

令和6年度 第4回浄水地域会議 会議録

■ **日時** 令和6年8月7日(水) 午後7時 ~ 8時

■ **場所** 浄水交流館 大会議室

■ **出席者**

<委員> 石川 須美子 石崎 里美 勝野 房則
 加藤 耕助 桑原 正明 佐竹 修
 成瀬 博文 三浦 律夫

<交流館> 水野 小百合(浄水交流館 館長)

<事務局> 松下 誠(地域支援課 副課長) 田嶋 優俊(地域支援課 担当長)
 伴 悠平(地域支援課 主査)

■ **内容**

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 選定した課題の精査

■ **議事内容(要約)**

3 選定した課題の精査

2グループに分かれて前回の地域会議で抽出した課題からさらに絞り込みを行い、各グループで発表を行った。内容は別紙のとおり

■ **今後の予定**

令和6年度第5回浄水地域会議

9月11日(水) 午後7時 ~ 浄水交流館大会議室にて

発表内容

<A グループ>

- ・「若い力と高齢の方の力を連携させた担い手確保による地域力の向上」が重要である。
- ・理由としては、5年後、高齢者はさらに高齢となる中、若手は仕事をしており、担い手不足が加速されると考えられる。
- ・担い手を分散するために区域割の見直し等を検討することも必要である。
- ・「高齢者が安心して外出できる移動手段の充実」も考えなければならない。高齢になっても車を手放せずに免許返納ができず、交通事故リスクが上昇するとともに、引きこもりが増える可能性がある。
- ・「高齢者が安心して外出できる移動手段の充実」は「住民が安心して安全に暮らせる地域づくり」につながるのではないか。移動のための車両を活用し地域巡回を行い、地域の見守りを行うこともできるのではないか。

<B グループ>

- ・「若い力と高齢の方の力を連携させた担い手確保による地域力の向上」が重要である。
- ・担い手不足の解消が防災防犯や移動の解消につながる可能性もあるのではないか。
- ・小中学校のボランティア部のOBが自治区イベント等の手伝いをしてくれることもあり、生かせるとよい。
- ・夏祭り小学生、中学生のボランティアの参加が多数あり、大変助かった。今後も多世代交流は続けていくべきである。